

平成 28 年 7 月 27 日  
福島県農林水産部  
( 畜 産 課 )

農林水産物（牧草・飼料作物）に係る緊急時環境放射線  
モニタリング検査の結果について

平成 28 年産の牧草・飼料作物については、モニタリング検査を行い、作物の種類及び収穫形態ごとに利用の可否を判断します。

平成 28 年 7 月 19 日から 7 月 20 日に採取した牧草・飼料作物の緊急時環境放射線モニタリング検査について、その結果は下記のとおりです。

1 検査対象及び点数

試料の種類	点数	市町村数	草種
単年生イネ科飼料作物(サイレージ・乾草利用)	2	1	エンバク等
永年生牧草(サイレージ・乾草利用) (個別判断)	1	1	オーチャートグラス
計	3	2	

2 検査結果（概要）

試料の種類	暫定許容値 以下の点数	超過 点数
単年生イネ科飼料作物(サイレージ・乾草利用)	2	0
永年生牧草(サイレージ・乾草利用) (個別判断)	1	0
計	3	0

3 検査結果（詳細）

別紙 1 のとおり

#### 4 流通・利用について

##### (1) 流通・利用が可能となった作物（地域判断） ※1

作物の区分	該当市町村（検査点数 ※2）
単年生イネ科飼料作物(サレージ・乾草利用)	郡山市(2, ⑥) 計2点

※1 検査点数が5点未満の市町村は、その検査地点(農家)のみを解除する。

※2 カッコ内の丸数字は、前回までの検査点数との合計値（合計値が5点以上で全て暫定許容値以下となれば当該地域の自粛解除となる）。

##### (2) 流通・利用が可能となった作物（個別判断）

作物区分	該当市町村（検査点数）
永年生牧草(サレージ・乾草利用) 個別判断※3	猪苗代町(1) 計1点

※3 表1の地域の永年生牧草については地域解除は行わず、草地更新済みの農家ごとに検査し、利用の可否を判断する。

表1 該当市町村（地域）

中通り (28地域)	福島市、川俣町、伊達市、桑折町、国見町、二本松市、本宮市、大玉村、郡山市（月形村、中野村、三代村、福良村、赤津村を除く地域）、田村市、三春町、小野町、須賀川市、鏡石町、天栄村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、白河市、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、棚倉町、塙町、鮫川村
会津 (1地域)	猪苗代町
浜通り (13地域)	南相馬市、相馬市、新地町、飯舘村、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、いわき市

注) 各地域とも帰還困難区域及び居住制限区域を除く

## 緊急時モニタリング検査結果について(福島県:牧草・飼料作物)

番号	市町村名	採取日	試料の種類		測定結果(水分80%補正值) ※		
					セシウム-134	セシウム-137	合算値
					(Bq/kg)	(Bq/kg)	(Bq/kg)
1	郡山市	7/20	単年生イネ科飼料作物	(サイレージ・乾草利用)	検出せず(<4.5)	2	2
2	郡山市	7/20	単年生イネ科飼料作物	(サイレージ・乾草利用)	検出せず(<5.0)	検出せず(<4.5)	—
3	猪苗代町	7/19	永年生牧草(個別判断)	(サイレージ・乾草利用)	検出せず(<5.9)	3	3

※粗飼料の暫定許容値は水分80%で設定されているため、水分80%の値に補正した。

## 【参考】飼料中の放射性セシウム暫定許容値

対象	1kg当たりの最大値(水分含量8割ベース)
牛、馬	100ベクレル